

2006年9月1日

BASF、蟻酸の製造能力を拡大

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、本社ルートヴィッヒスハーフェン工場での蟻酸(ぎさん)の製造能力を2007年中に、年産25,000トン引き上げます。応用範囲の広い化学中間体として蟻酸に対する需要が増加を続けていることに対応するものです。BASFは、ドイツのルートヴィッヒスハーフェンと中国の南京にある統合生産拠点フェアブントに蟻酸の製造工場を持ち、現在、年産230,000トンを生産する世界トップの蟻酸メーカーです。

蟻酸はさまざまな用途に使用されており、その化学的特徴から飼料添加物、金属表面処理、錆管剤、殺菌剤、pH調整補助剤、工業用洗浄剤、除氷剤等に使われています。

■ BASF の中間体事業

世界で最も広範な中間体物質を開発、生産、販売しています。600以上におよぶ製品のうち特に重要なのは、アミン、ジオール、多価アルコール、酸などです。中間体は、塗料やプラスチック、医薬品、紡績繊維、洗剤、農薬の出発原料として使用され、最終製品の特性の改善や、生産プロセスの効率性の向上に役立てられています。BASFの同事業部は、ISO9001:2000認証を取得しており、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカに生産拠点を有しています。2005年現在、同事業部は2,665人の従業員を擁し、世界での売上は20億ユーロ以上です。ホームページのアドレスは、<http://www.basf.de/intermediates>です。

###

■ BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASFの製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASFでは、新技術の開発により新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功、環境保護、および社会的責任を果たすことでより良い未来に貢献しています。約9万4,000人の従業員を擁するBASFは、2005年度には427億ユーロを超える売上高を計上しました。BASFの株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスはwww.basf.comです。BASFジャパン(株)のホームページのアドレスは、www.basf-japan.co.jpです。

■ この件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ 山田 真紀 Tel. 03-3238-2341

BASF ジャパン株式会社 広報代理

ヒル アンド ノウルトン ジャパン株式会社 野田 葉子 Tel. 03-5768-8412

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ

住所: 〒102-8570

東京都千代田区紀尾井町3-3

TEL: 03-3238-2341

FAX: 03-3238-2514

URL: <http://www.basf-japan.co.jp>